

Ciscoセキュリティ コネクタ (CSC) と併用するための IOSデバイスを指示する方法か。

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

概要

この資料に明解で使用するために Apple IOSデバイスを、ローカルで指示する方法を、記述されています。重要な要件の使用は Ciscoセキュリティ コネクタ (CSC) /明解 IOSデバイスが AMP と共に使用する必要があるおよび/または Umbrella およびこれらのデバイスが指示される必要があることです。デバイスは DEP プログラムによってまたは Apple コンフィグレータを通して Apple から購入される場合指示することができます。管理は特別なモードとして管理者にデバイスのより多くの制御をより与える iOS 5 の Apple によって一般的に許可される何がもたらされました。指示されたモードは制度上所有であるデバイスで使用されるように意図されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Apple IOSデバイス 11.3 以上に
- Apple コンフィグレータ 2 (Mac でだけ利用可能な)

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。ネットワークがライブである場合、あらゆるコンフィギュレーションの潜在的影響を理解するようにして下さい。

背景説明

Ciscoセキュリティ コネクタは組織所有の IOSデバイスに前例のない表示および制御を提供します。AMP for Endpoints 明解および Umbrella によって結合されて、この機能は提供します:

- ネットワークおよびデバイス トラフィックへの表示。

- 各デバイスのためのアプリケーション コンポーネント。
- だれが phishing リンクをクリックしたか識別するユーザおよびレポートのための phishing サイトの自動ブロック。
- 悪意のあるドメイン従って機密データへの接続をブロックして保護される残して下さい。

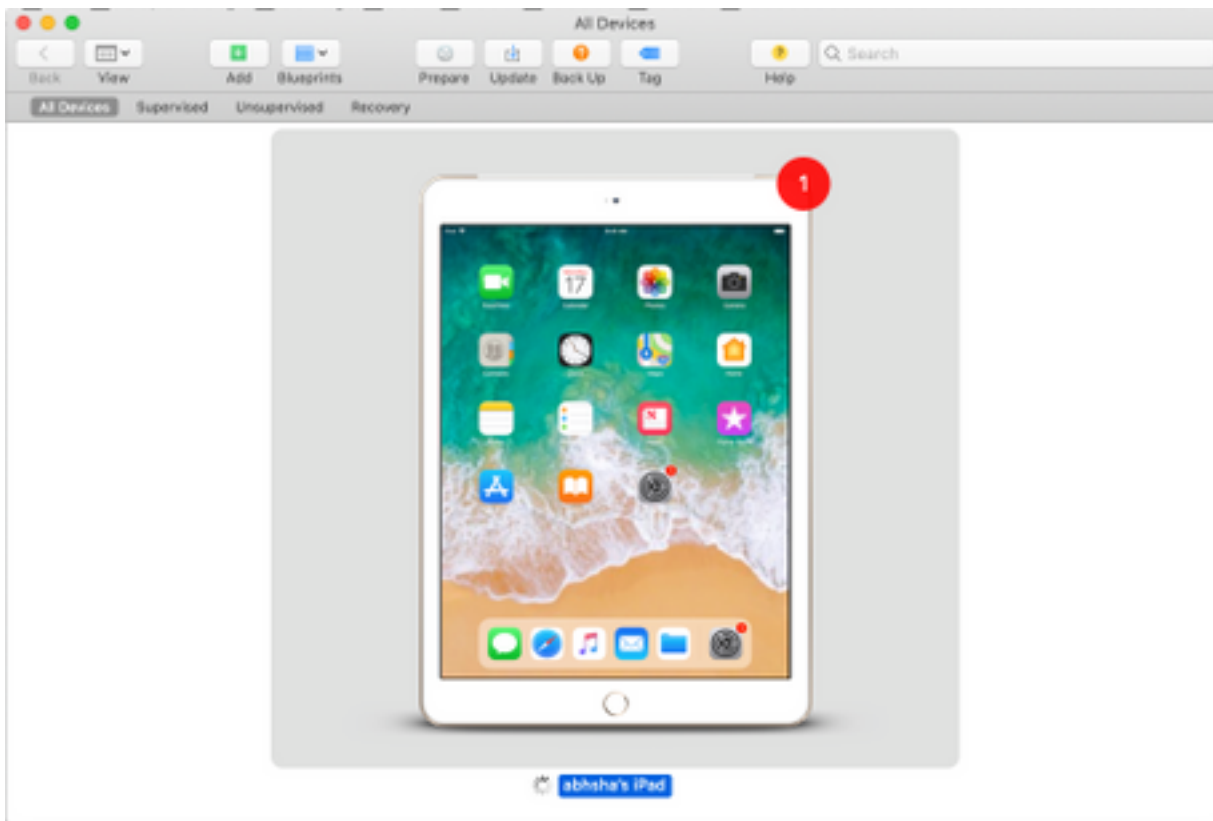
設定

警告： デバイスを指示するために、それは完全に拭かれます。 従ってデバイスのバックアップを奪取したように、して下さい。

ステップ 1. Mac に IOSデバイスを接続して下さい。

ステップ 2.起動 Apple コンフィグレータ。

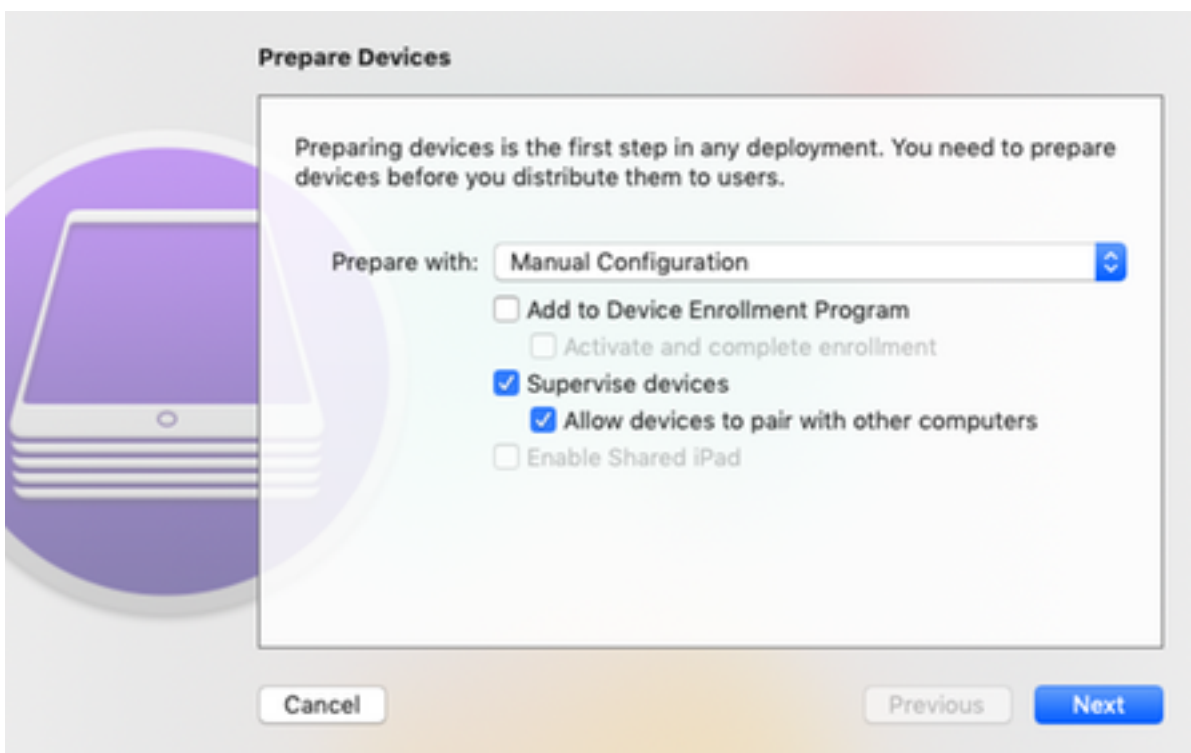
ステップ 3 イメージに示すようにデバイスをここに見て下さい。



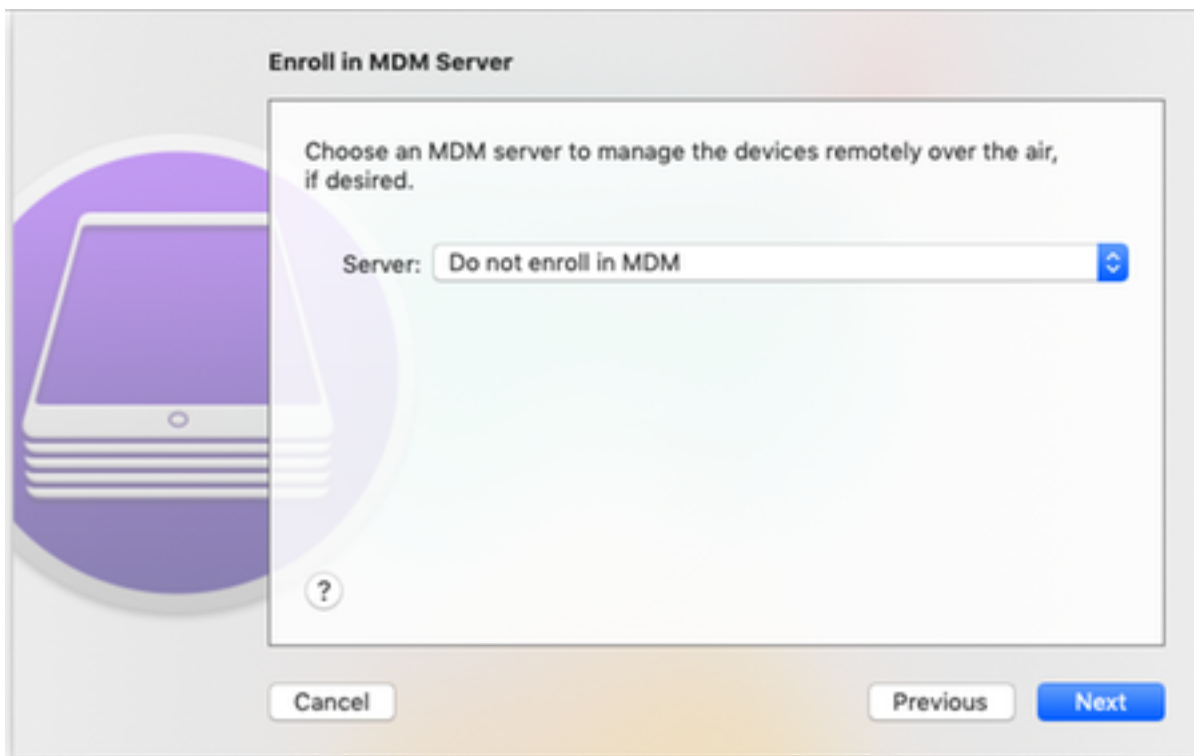
ステップ 4.準備しますイメージに示すように右クリックし、選択して下さい。



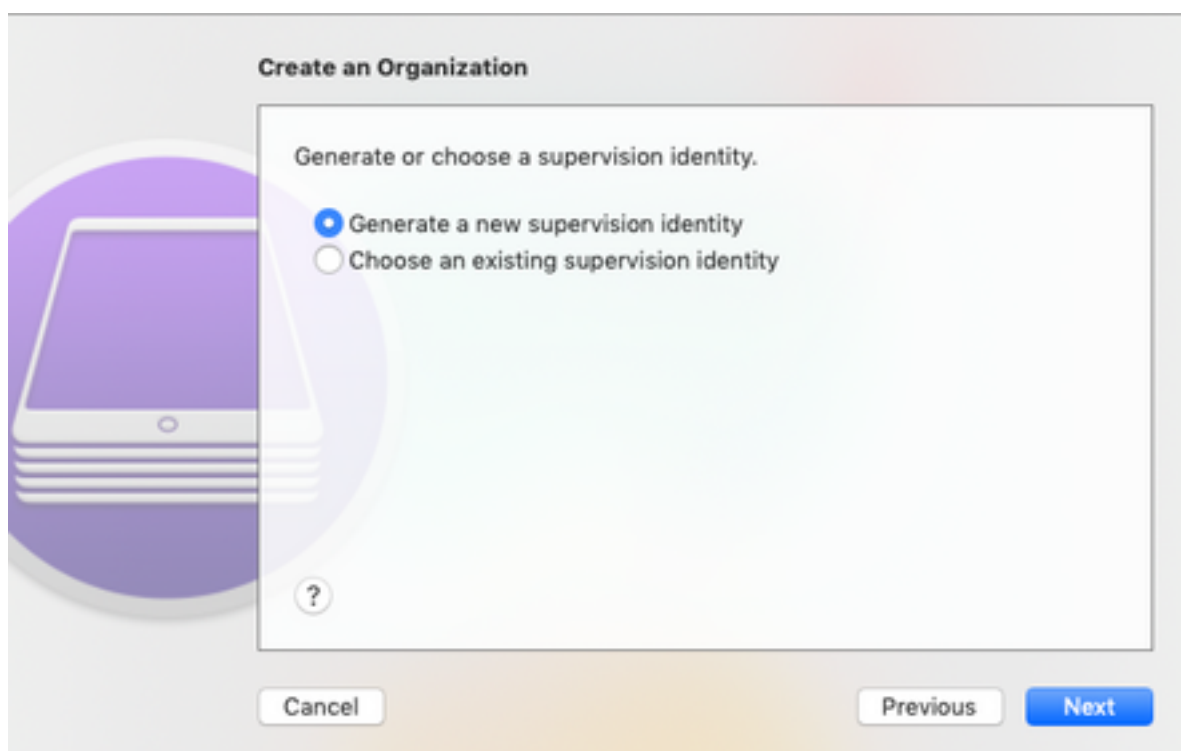
ステップ 5. 『Manual Configuration』 を選択し、チェックして下さい両方のボックス-デバイスを指示し、デバイスがこの他のコンピュータ イメージに示すようにによって組み合わせ、『Next』 をクリック するようにして下さい。



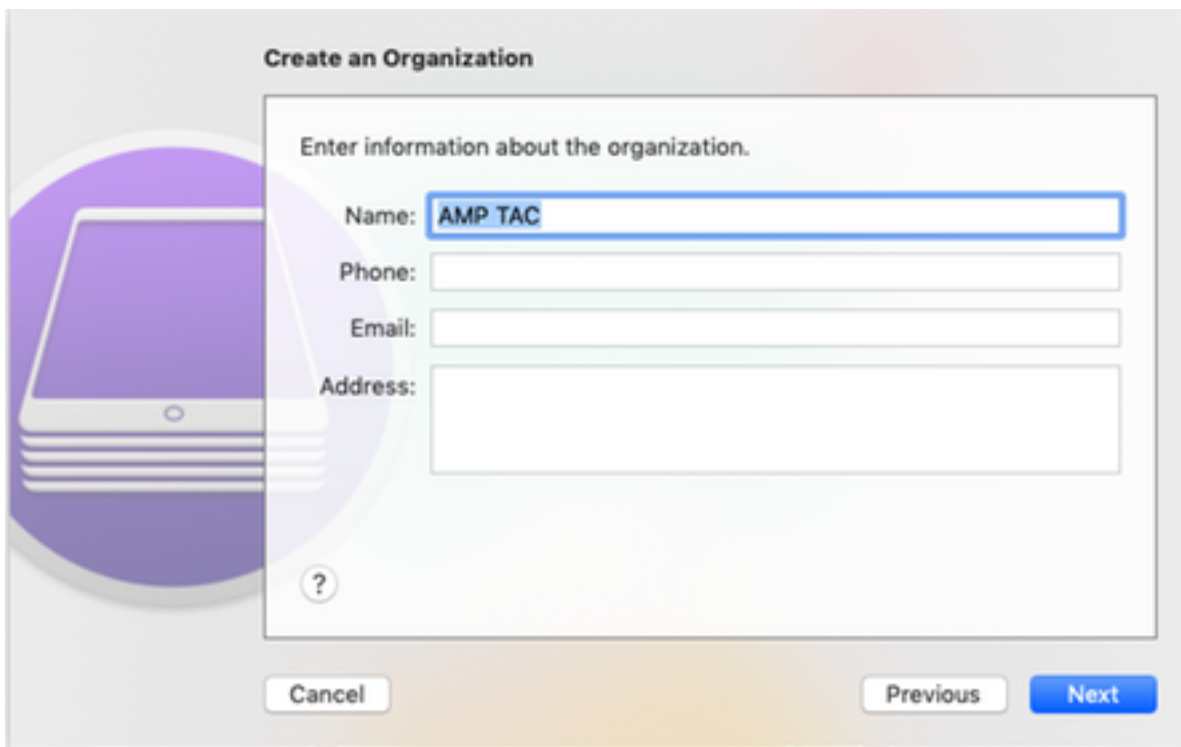
ステップ 6 それを MDM によってこの段階で登録し、『Next』 をクリック することは必要ではないです。



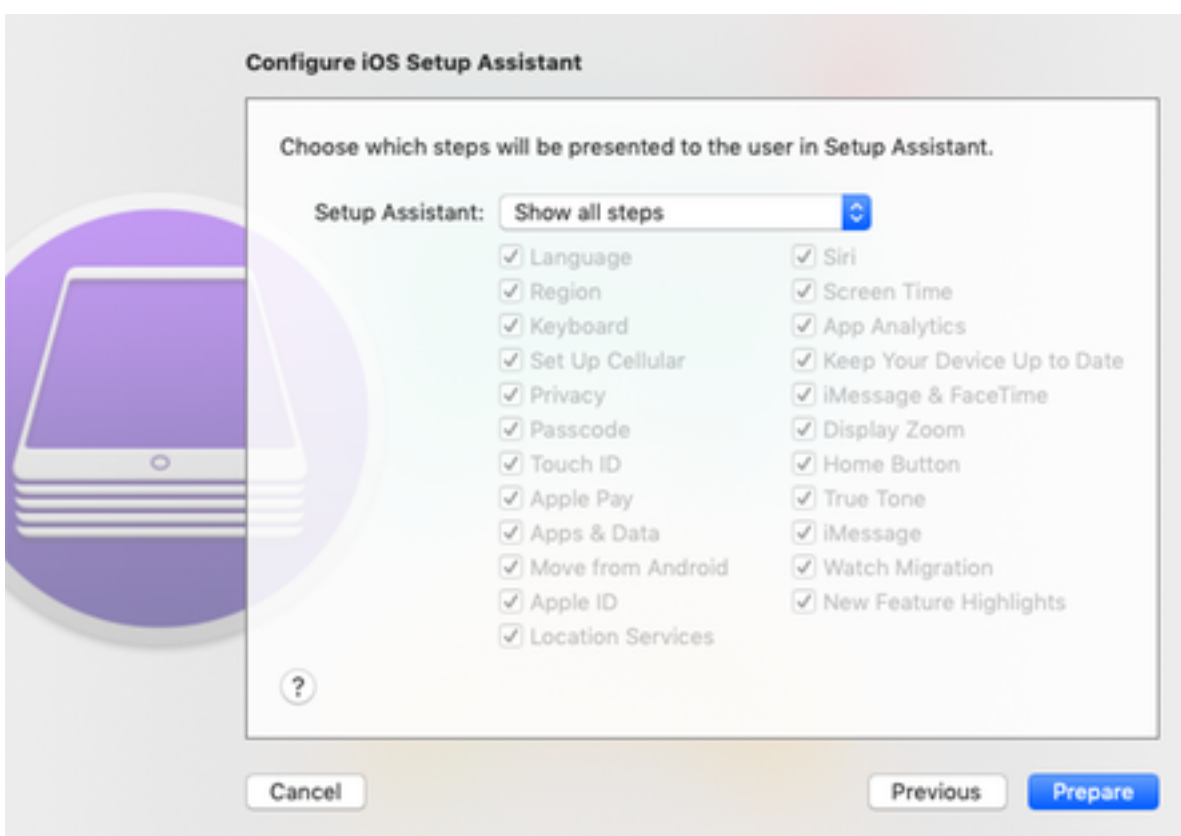
ステップ7.デバイスが作成し割り当てられる、『Next』をクリックするために『Generate』を選択して下さい新しい組織を新しい管理識別を。



ステップ8.名前を組織につけ、『Next』をクリックして下さい。



ステップ 9.準備しますをクリックして下さい。



ステップ 10：それから準備のための iPad を消すためにプロンプト表示されます。バックアップを奪取した後 iPad を消すために選択して下さい。

ステップ 11：iPad が再度起動した後、これは CSC と使える状態で指示し。